

東京都大田区での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う
野鳥緊急調査チームによる調査の結果について
(H30.1.19 18:00)

東京都大田区において1月5日(金)に回収されたオオタカから高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、1月19日(金)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況などの調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

1月19日(金)に東京都大田区の発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内を中心とした渡り鳥の飛来地等の計10地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。検査対象となる死亡個体の回収等の異常は確認されなかった。

なお、調査チーム派遣中に、東京都及び神奈川県による当該10km圏内の監視においても検査対象となる死亡個体の回収等の異常は確認されなかった。

(参考)

観察された鳥類 45種

うち、検査優先種1 7種(ヒドリガモ、キンクロハジロ、ユリカモメ等)

検査優先種2 6種(オナガガモ、オオバン、スズガモ等)

検査優先種3 12種(カルガモ、コガモ、カワウ等)

*本調査結果は暫定値です。

*検査優先種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、東京都及び神奈川県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成30年1月19日(金)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直通：03-5521-8285

代表：03-3581-3351

室長：西山 理行 (内線6470)

感染症対策係長：岩野 公美 (内線6676)

関東地方環境事務所野生生物課

直通：048-600 0817

課長：横田 寿男

広域鳥獣保護管理専門官：鈴木 真野